
不幸な異端者

ゲー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不幸な異端者

【Nコード】

N2104Y

【作者名】

グー

【あらすじ】

目をあけるとそこは異世界。いきなりすることに驚く主人公竜斗と幼馴染の光輝。するとそこに「あなたがたが勇者様ですね。お願いします、魔王を倒してください。」と見た目巫女さんの女の子に頼まれ驚く竜斗と光輝。

二人の選ぶ運命は・・・。

とそんなこんなで始まる異世界トリップ物。チートあり、ハーレムあり(?)のストーリー。

不定期更新となりますので予めご了承ください。またこの小説には一部残酷な描写がありますのでご注意ください。

旅立ち編

第零章 プロローグ

「告られたのこれで何人目だ？」

俺がそう声をかけたのは幼なじみの一炎沢光輝 ほのざわこうき。成績優秀でスポーツもできる、さらに今期の生徒会長もしているため女子にもてる。今日もすでに3人の女子がふられている。

「数えたことがないからわからないが30人ほどじゃないか？」

なんて平然とした顔でいうのである。正直腹が立つ。こっちは今まで彼女どこるか告白さえされたことがないのだ。なのにこいつは……。幼なじみでなかったら殴りとびしただろう。えっ？それは逆恨みだつて？わかってますよ、そんなこと。

でもまあそんなことはどうでも……よくはないが、よしとしよう。でも想像してほしい。学校で一人寂しく弁当を食ってるすぐ後ろの席でクラスの女子ほぼ全員をはべらせて昼飯を食べている幼なじみを。正直殺意がわく。無論それは俺だけではなくクラスの男子ほぼ全員にあてはまる。

実際に光輝をぼころうとするやつもいた。

最初のうちは自業自得だと思って放っておいたが、光輝と仲がいいからって俺までぼこる対象に加えてきたから、俺一人で、10人ぐらいの奴を逆にぼこり返してやったこともある。

それでも懲りずに……逆に人数を増やして……くるものだから頭が痛い。

と現実逃避はここまでにして、「ところで光輝、どうしてお前浮いてんの？」

「さあ、なんでだろう。」

「さらにお前あの黒い穴に向かって進んでるぞ」

「そうだなあ……なあ竜斗」

「なんだ」

「このままだと俺あの穴に吸い込まれてしまいそうなんだがどうしたらいいと思う？」

「さあな。とりあえず俺を巻き込まなければいいと思う」

「そういわずに何か考えてくれよ」

「断る。何か知らんが面倒くさそうな匂いがするからな。ってそんなこと言ってる間にもうすぐ吸い込まれるぞ。じゃあな、お前の家族には伝えとくから心配すんな。」

と言つて帰ろうとする俺を光輝は後ろから抱きついてきた。

「そんなこと言わずに一緒に来てくれよ。幼馴染だろ。」

といって必死に抱きついて離そうとしない。

「断ると言っているだろ。幼馴染なんだから俺を巻き込むな。」

といって必死にふりほどこうとするが、全然振りほどけない。普段ならいとも簡単にふりほどけるだけの力の差があるのにと思つていと黒い穴はすでに目の前。

「「うわああああああああ」」

と叫び光輝と竜斗は黒い穴の中へと消えていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2104y/>

不幸な異端者

2011年11月4日13時12分発行